

令和5年度 第4回 豊田市足助地域会議 議事録

開催日時	令和5年7月24日（月）	開会	閉会
		18時30分	20時00分
会場	足助支所 2階 第2、3会議室		
出席者	委員15名出席		
	足助支所 支所長 青木、副主幹 深田、担当長 鶴井、主査 花園		
欠席者	2名		
傍聴者	0名		
内容	1 開会 ・市民の誓い唱和 ・会長あいさつ 2 報告事項 ・わくわく事業2次募集について ・地域会議への諮問について ・各分科会について 3 地域カルテ、人口データ等から見える足助の課題 4 連絡事項 次回の会議等について確認		

■ 議事（要約）

2 報告事項

（1）わくわく事業2次募集について 事務局より説明

	団体名	事業名	回数	申請金額
1	山の音を観る会	観音山整備事業	1	496,000円

審査会日程等

- ・ 日程：令和5年8月中下旬（平日午後6時30分から）
- ・ 審査員：地域審査員（わくわく事業申請団体会員10人）、足助支所審査員（3人）
- ・ 審査方法：ヒアリング審査
- ・ 審査後に2次募集团体を含め意見交換会を行う予定

（2）地域会議への諮問について 事務局より説明

第8次豊田市総合計画が令和6年度末で終了するため、令和5年度から2年をかけて、第9次豊田市総合計画を策定する。

・ 諮問実施概要

令和5年9月25日（月）午後6時30分から（1時間程度）

第6回足助地域会議の時間内にて実施

（内容）市長あいさつ、第9次豊田市総合計画諮問の説明・質疑、意見交換等

・ 諮問内容（案）

第9次豊田市総合計画において、本市のまちづくりの方向性を示す「(仮称) ミライ構想」「めざす姿」「まちづくりの基本的な考え方」「都市構造」について意見を求める予定。

・ 答申日

令和5年12月18日（月）午後6時30分から 市長出席 第9回地域会議

(3) 各分科会の活動状況を分科会代表より説明

【まるふく会議（高齢者等課題検討分科会）】

・ 第1回足助まるっとささえあいの会を開催した。

実施：令和5年6月23日（金）午後6時から7時30分 足助病院南棟講義室1

参加者：約30事業所等

内容：①足助まるっとささえあいの会について説明

②各相談機関の役割と相談事例（包括支援センター、地域保健課、社会福祉協議会）

③参加者同士で意見交換会 テーマ：「夢を語ろう（足助にあるといいもの）」

・ 令和4年度（概要版）足助中学校区地域健康カルテについて地域保健課より説明を受けた。特定検診の受給率（37.1%）が市全体の平均より低いことや高血圧、糖尿病のリスクが高い人が多い結果等の説明を受けた。（あすけ支所日より9.10月号の記事で周知する）

【新規課題事業検討分科会】

・ 足助マルシェが6月18日（日）に陣屋跡地で開催（9店舗出店）され、観光客等でにぎわった。会場の使い勝手等聞き取りや気づいたことなど（休憩用の日よけ、テーブル、イスなど）意見も整理していく。

今後利用予定：たんころりんの会、特別公演：綾渡の夜念仏と盆踊り（8/5）、足助マルシェ（8/20）など

・ 陣屋跡地交流拠点づくりコーディネート業務委託契約完了、陣屋跡地利活用のワークショップなどを開催し、陣屋跡地のアイデンティティ（魅力、みんなにとっての意義など）、整備イメージの共有や活用に必要な設備や物品のイメージを具現化して行く。

3 地域カルテ、人口データ等から見える足助の課題 事務局より説明

◆「地域カルテ」、「人口データ」や「おいでん・さんそんプラン」に示された山村地域の課題を見て、地域会議委員として感じる足助の課題についてグループワークを行い地域課題の整理・明確化する。

◆先月、先々月のグループワークで話し合った内容

①特に課題解決したいもの

- ・ 少子高齢化対策、子育てインフラ整備（子育て世代の支援拡充）、住居問題
特色ある子育て教育と住居問題、小学校の小規模化（メリット、デメリットあり）
I、Uターン地域に残る人を増やす（空き家、住むところなど）

②その理由

- ・人口減、若者減で小学校の存続危機
少子化、子育て支援・環境の改善は急務（学校、住む家等）

③今後の活用方法・効果

- ・小学校（10校）、こども園（5園）の統合
小学校10校の存続は限界（課題）のため、何校かの統合か1か所に集中させる。
子育てモデルのPR（小規模校の地域で子育て・田舎生活を楽しむ）
- ・各地にキーマンの育成
まずは「先行モデル」（例えば、関係人口等で）を示す。
- ・空き家に関して
かたづけボランティアの充実など
アパートもあり（2～3年の一時的な住宅など）
- ・住宅の建設
市所有地への戸建て、マンション建築

◆事務局にて内容整理、今後の地域課題としての必要性等の検討・整理

○小学校等の統廃合

- ・今までに足助地域では出てこなかった意見。
- ・8月の区長会で「学校規模適正化の基本方針改定に向けた取組等について」教育政策課が説明する。
- ・小規模校のメリット、デメリットの把握。
- ・特に子育て世代、PTAが学校、地域等で話し合うことが重要。
- ・地域の動向を見て教育政策課などと連携する。

○子育てモデルのPR

- ・小規模校？田舎？足助地域で子育て（生活）を楽しんでいる人たちをPRする場を作る。
（田舎での生活の楽しさを内外に伝える、住む・暮らす楽しさ地域のPR）方法を考える。

○各地にキーマンの育成

- ・キーマンは育てるものでなくて育つもの。
- ・育成ではなく、地域の協力意識を変革する必要がある。
- ・PRする場、表に出て話す場を地域でつくる。

○空き家、アパート、住宅の建設

- ・空き家のかたづけボランティアはおいでん・さんそんセンターが事業化している。
（PRをもっと必要）
- ・空き家登録を増やすためのアイデアが必要。
- ・一時的な住宅アパートは山村地域活性化住宅を活かす。
- ・住宅建設はむずかしい。造成団地は一時的な人口増加にはなるが、その後（子どもなど）に住み続けて行けるための環境を作ること意識することが大切。
- ・農業振興地域整備計画の見直し（5年に1回令和7年度末）に伴い土地利用計画の策定を検討し、企画課、土地開発公社などと連携する。（2戸2戸整備）

◆今後の流れ

- 諮問内容に合致すれば、このグループワーク内容を答申のヒントにする。
- 新しい分科会の設置（令和6年度）
- 新たな課題提案事業として事業化（令和7年度）

4 連絡事項

次回の会議等について確認

- ・ 第3回新規事業検討分科会
令和5年7月28日（金） 午後6時30分～ 足助支所
- ・ 第3回まるふく会議（高齢者課題検討分科会）
令和5年8月2日（水） 午前10時～ 足助支所
- ・ 第5回足助地域会議
令和5年8月21日（月） 午後6時30分～ 足助支所